

# 文藝春秋

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可  
令和三年六月一日発行 毎月一回一日発行  
第九十九巻第六号 五月十日発売

**大型企画** 令和に引きつがれた「闇」

## 平成アンタッチャブル事件簿

**徹底討論** コロナ「緊急事態列島」/「小室文書」眞子さまの危うさ 六月号





上

野と浅草を結ぶ浅草  
通りには、南側を中  
心に約五〇店ほどの  
仏具を商うお店が立ち並び、通  
称「仏壇通り」と呼ばれている。  
通りの西側にあたる上野の山に  
浅草寺、東には浅草寺、そして通  
り沿いには東本願寺と  
名刹があり周辺に各系列  
の店がおよそ一五〇も。仏具  
の店が自然と集まったのも道  
と云える。その東本願寺のす  
まみ前に塔屋が特徴の「難波仏  
具店」が建っている。

「前の社屋は関東大震災で倒  
れてしまい、しばらくバラック  
で営業した後、昭和四年にこの  
建物ができました。鉄筋コンク  
リート造なので、空襲でも壊れ  
ることなく外側は残りました。  
ただ、中は焼けてしまい真つ黒  
になりながらも、地下に保管し  
ていた建物の設計図は何とか無  
事で残ったんです」(難波商店、  
大和田真一さん)

難波仏具店の建物は、モルタ  
ル塗で、丸窓や縦長窓を開く、い  
までは貴重なデザインとなつて  
いる。  
「それに、終戦からしばらく周  
りに高い建物が無かった頃は、  
うちの塔屋が周囲の目印になつ  
ていたようです。初めのうちは、  
お寺に取める飾り金物のお店で、  
明治三年から仏具も扱うよう  
になりました」(大和田さん)

仏具店の建物は、三年前に有形  
文化財に登録された「壊すのは  
簡単ですが二度と戻せないこ  
とを考えると残す意義があると  
思っています」(大和田さん)

反りのある二重屋根の塔屋を持つ商家は  
空襲の火事にも耐えたランドマークだった

Photograph: Hirokazu Takayama  
Design: Naoto Dats

の貴重な戦前からの商家

シリーズ 記憶に残るあの街、この路地  
三方に名刹がある仏壇通り



Daiwa House.  
大和ハウスグループ

提供 / 大和ハウス工業株式会社  
www.daiwahouse.co.jp